

みんなで作る

森ものがたい

2020年3月7日発行 第133号

油山自然観察の森
森を育てる会



〒811-1355
福岡市南区大字松原855-1
TEL:092-871-2112
FAX:092-801-8661
<http://www.morikai.org/>
mail: aburayama@morikai.org



＜2/2 カブトムシの森 シイタケ駒打ちの楢木準備作業＞

も	表紙	1
く	活動ノート(12/7,12/15,1/12,1/19,2/9,2/23)	2~4
	特集「アカマツ成木調査」	5~6
じ	油山のお仕事日記「萌え体験」	7
	「世話役から」(カブ森)	7
	うん・えー会報告(12/7)	8
	活動予定	8

「森を育てる会」は福岡市油山自然観察の森の保全活動を通じ、広く緑地保全活動を行う市民の育成・交流を行う事を目的とする市民グループです。活動は(公財)福岡市緑のまちづくり協会の助成を受けて行っています。**会では、随時、会員を募集しています。**興味がある方はメールまたは電話でご連絡下さい。

活動ノート



12月7日(土)
アカマツ成木調査
12:30~15:30



◆参加者：中嶋、鎌田、林、静岡川上、柴戸 計6名

◆内容：調査を行う2班と古くなった個体識別用タグを貼りかえる班の3班(2人1組)に分けて作業が出来、午後半日でしたが無事すべての作業を終えることができました。

調査班はA地区からとF地区から、それぞれ分かれてスタートし、アカマツ林全地区のアカマツ成木(胸高直径3cm以上)の胸高直径の測定と樹勢の判定を行い、記録する作業を行いました。計測値を見ると、全体的に昨年度より胸高直径が0.5~1.0センチ程度伸びているようでした。また、今年はマツ枯れの被害木も確認されませんでした。

タグ貼替班は、胸高位置に設置している個体識別用タグ(ナンバーテープ)について、新しいものをタッカーで留めて番号を記録していく作業を行いました。前回設置から5年が経過していたため、紫外線や木の成長による引っ張りを受けてタグが劣化して判別しづらくなっていましたが、貼り替えにより改善できました。

各班の作業終了後、最後にD、F地区の若木の多いエリアに

ついて、間引いて伐採する木と残して成長させる木を選定する作業をみんなで行いました。10年前は小さな幼木だった個体が今ではぐんぐん成長していて嬉しい限りです。今後、アカマツ作業の世話役とも相談しながら間引き作業等を実施してより活発な成長を促していく予定です。

斜面を上り下りしながら、70本以上の木を調査するのはやはり大変だなと今回あらためて感じました。ご参加の皆様本当にお疲れさまでした。

ぜひ次回以降も2班集体で行いたいと考えていますので、会員の皆様のご参加よろしくお願いたします。

【ふりかえりより】

・調査した木々は割と元気が良さそうで安心しました。(鎌田)

12月15日(日)

納会

9:30~14:30



◆参加者：鎌田、川上、吉田、松雪、静岡、砂田、中嶋、林、富永、新牛込3名、国広2名 計14名

◆内容：2019年の活動を締めくくる「納会」を行いました。

この日は柏陵高校の研修受け入れに向け、アカマツ林での幼木調査と広葉樹の伐採の準備作業も並行して行いました。

食事の準備は火起こし、笹茶作り、料理の各リーダーを決めそれぞれ作業を始めました。メニューは豚汁、白玉と絹ごし豆腐で作ったぜんざい、シイタケ&餅焼き、コーヒー、笹茶など。料理の最中には「〇〇がない!」、「これ何に使うの?」、「〇〇が少ない」、「えっ?これだけ?」足りない物もありましたが料理担当のお姉さま方の「腕と愛情」でお昼頃には出来上がりしました。アカマツ林の研修準備班も合流し、歓談しながらの楽しいひと時を過ごし、お腹いっぱい美味しくいただきました。そのあと新しい試みとしてケーナ、オカリナの演奏に合わせてみんなで合唱♪“大きな栗の木の下で”等♪森の中で歌うのっていいな!

みんながお腹も心も落ち着いた頃、一年の振り返りをしました。森を育てる会のボランティア活動も多岐に渡り、ただ草刈って、木を切っているだけではありません。各種調査、新たな活動の模索、管理・運営も頑張りました。新五ヶ年計画の一年目でもあり、順調に進んだ部分、台風災害を受けた部分、参加者が少なく思うように活動が進まなかった作業、色々ありましたが今年もみんなの努力の成果として、大きな事故や怪我もなく過ごせたことに感謝し、2019年を締めくくりました。一足早い年末の挨拶を交わし、早めの解散となりました。

会員の横の繋がりで新年度には新しい家族も仲間に加わってくれるようで2020年へ希望を繫ぎます。森を育てる

会の会員と会を周りから支えてくれる皆さんに感謝します。

【ふりかえりより】

・おいしい豚汁とぜんざいその他色々できました。とても楽しい納会でした。(吉田)

1月12日(日)

(1) アカマツ林整備

9:30~16:00



◆参加者：国広、静間、山川、鎌田、体験参加2名 計6名

◆内容：センター前で準備体操を済ませ、道具は皆で手分けしてA地区階段下のガイダンス広場まで運搬。作業内容の確認を行い、C地区のシダ刈り班とD地区の広葉樹除伐班に分かれました。

シダ刈り班の作業エリアのシダは毎年継続して刈っているので草丈こそ短くなっていますが、一面に繁茂しています。急斜面での作業は大変でしたが精力的に行った結果、地肌が見えるほどスッキリし、アカマツ幼木への日当たりも良くなりました。

一方の除伐班も急斜面での作業となりました。午前中は小径のアラカシ、リョウブなどの広葉樹の除伐。体験参加の方のパワフルな作業もありハイペースで伐り進めることができました。午後の目標は大径のクスノキの伐倒。周辺のコナラやネズモチなど小径木を除伐した後に、ベテランの指導のもと切り口のマーキングを行い、ズれないよう確認しながら鋸をひいていきました。受け口側の地面は垂直に切れ込んで、足場も滑るので踏ん張りながらの作業となりましたが、予定時

間内に狙い通りの方向に倒すことが出来ました。直径は27cmありました。

体験参加のお二人は東区にある山の登山道整備などをされており、森会の活動はホームページで知ったそうです。別の場所でボランティア活動をしている方との交流も出来、とても良い一日となりました。

【ふりかえりより】

・勉強になりました。目的を持った保全、ビジョンが大事なことを学びました。(体験参加者)

(2) アカマツ幼木調査

9:30~12:00



◆参加者：中嶋、柴戸、鎌田 計3名

◆内容：この日はアカマツ林作業もあり、調査の人員としては午前、午後とも各2名でした。午前中にB地区に設置している区画での地掻きの有無が実生幼木の生育に及ぼす効果を見る為の調査、午後はA~Fの各地区で数本ずつサンプリングしている幼木の生長調査と2つの調査を予定していましたが、A~F各地区の生長調査まで至らずに時間が来てしまいました。未調査分は後日日程を調整して実施したいと思います。

今回時間がかかった大きな要因としては、区画のヒモ張りや実生を確認できる状態までシダや落ち葉などを慎重に除去する作業に手間取ったこと、調査が4年目となって実生幼木の数も増えたことです。調査前の準備作業は下見時に

予め行っておくなど今後改善していきたいと考えています。

作業人員も2名2組などで行えるともう少し余裕も出ると思いますので、皆さんの参加を是非お願いします。

今回の調査結果の詳細については、後日「森ものがたり」の特集で報告しますが、今回の調査でも地掻きの有無で比較すると明らかに地掻きをした区画の方が多くの実生幼木を確認できました。また、前年以前から生育している個体の定着も地掻きしている区画の方が良いことが確認できました。

なお、地掻きしていない区画ではシダや常緑樹の芽生えなどが多く入り込んでいましたが、当初地掻きした区画では、今回も明らかにそれらが少ない状況でしたので、地掻きをやれば、その後長期間にわたって下草刈り等の作業負担の軽減も期待できそうです。ひたすら屈んでの地道な作業でしたが、今後のアカマツ林作りに役立つデータが蓄積できました。

【ふりかえりより】

・可愛いアカマツの芽生えが、ノイバラと落葉した松葉の間にたくさん隠れていて、わくわくしました。1、2年で消えたものも多くあるのを体感しました。(柴戸)

1月19日(日)

カブトムシの森整備

9:30~15:00



◆参加者：静間、鎌田、山川、国広 計4名

◆内容：予報並びに雨雲レーダーから実施可能と判断したのですが、丁度家を出るタイミングで一時的にかなりの降水が

あったことも影響してか、集まったのは4名。天気も良くなったので特に役割分担はせず準備をすすめA地区へ向かいました。博多の冬は晴れたり曇ったりが日常茶飯、結局終わってみれば良い作業日和でした。予定を縮小してA地区のみでの活動とし、材処理のことも考慮して伐採本数も2本にして安全な伐倒作業手順のレビューをすることにしました。

作業に先立って、A地区の自然観察をし、ムラサキケマンの花、ツクシショウジョウバカマの元気な姿を楽しみました。

最初の伐倒は台風で上半分が折れたままになっていたクヌギ。順調に追口切りをしたのに向に倒れる気配がない！上部が無かったので、重量が軽くなっていたのと、重心も下がっていたのが原因で、追口を標準より低くして弦を小さくしなければならなかったのです。今後まず遭遇することはないと思いますが、貴重な経験をしました。

続いて西側入口階段横のクマノミズキの伐採。こちらは先端が若干手すりにかかる程度で大丈夫と踏んでいて、実際ほんの少ししか掛かりませんでした。思いのほかしっかりしていたため、弦が最後まで切れず、ノコギリで切ることに。なかなか教訓に満ちた訓練ができました。

午後はまず材処理とササ刈りをし、その後湿地に移って22日予定の特別活動での榎木づくりに備えた整地作業と、クヌギ以外の材処理、萌芽枝、ツル植物等を除去しました。

【ふりかえりより】

・木や草花の勉強もしながら作業も順調に出来て良い一日になりました。(国広)

2月9日(日) シイタケ駒打ち体験

10:00~13:00



◆参加者：鎌田、富永、川上
織田、新牛込2名、松尾3名
計9名 行事参加者20名

◆内容：パラっていた雨も止み10時に活動開始。センターのレンジャーよりシイタケの駒打ちには森の循環の中で伐採したクヌギを利用する事を説明して頂き、森会の活動VTRを見てもらった後、原木シイタケの収穫体験をしてもらいました。

そのあと子供広場へ移動して11時過ぎから作業を始めました。会員がそれぞれのポジションに付き、参加者には昨年暮れから葉枯らして準備してきた約1.8mのクヌギを半分は切った榎木を作ってもらいましたが、初めて木を切る人ばかりで親子で悪戦苦闘。次にその榎木にドリルで穴を開け、子供中心にタネ菌の打込み。2本打ち込み終わった家族から持ち帰り用の小振りの榎木も作りました。会員も片付けをしながら各自持ち帰りの榎木を作りました。

作業を終えた家族から順次、キャンプ場へ移動し、センター長から焚き木のレクチャーを受け、火おこしをしました。収穫したてのシイタケ、焼き芋やマッシュマロ、ピザを焼き、焚火を囲みながら昼食。怪我ややけどなどの事故も無く、皆さんに楽しんでいただけました。

【ふりかえりより】

・皆さん楽しい体験ができて良かったです。(富永)

2月23日(日)
カブ森整備及びアカマツ幼木調査
9:30~15:30



◆参加者：中嶋、柴戸、鎌田
松雪、新牛込2名、静間 計7名

◆内容：午前中はA地区で階段西側、休憩小屋北側、旧飼育小屋東側のネザサ等を刈りました。林床が明るくなったことで、常緑広葉樹の実生や萌芽が活発となっているので、刈りがありました。撲滅をめざしているヒメヒオウギズイセンの球根除去は今回見送りましたが、はびこっている状況を確認しました。午後は湿地などを中心に午前中の作業で残っていた部分と、B地区西斜面で作業しました。久しぶりにネザサの無くなった景色になりスッキリしました。

調査は午前中に2名で実施。前回実施できなかった、アカマツ林A~F各地区で数本ずつサンプリングしている幼木の生長調査を行いました。一年前の調査時から枯死や伐採等で消失している個体もなく、全体的に順調に成長していることを確認できました。調査対象木の内、整備作業が進んで日当たりが良くなっている箇所では、樹勢が改善している個体が見られました。年々大きくなる幼木達の計測は困難さも伴いますが、元気に育っているのを見て安心しました。

【ふりかえりより】

・少人数ながらカブ森A、B地区のササ刈りと照葉樹実生・萌芽枝の刈り取りが完了して、夏の草刈りが楽になりそうです。(静間)

特集「アカマツ林成木調査」

(アカマツ林調査世話役 中嶋)

昨年12月7日の午後に行ったアカマツ林でのアカマツ成木調査について、調査の内容や調査結果について報告します。

■当日の活動内容

午前中のうんえー会終了後、昼食を食べて午後から作業を行いました。当初アカマツ林整備作業と並行して調査も行う予定でしたが、参加者の数が6名と少なかったため、作業のボリュームがあった成木調査の方の的を絞ってみんなで調査をすることにしました。

調査は毎年、アカマツ林A地区からF地区の全ての成木（胸高直径3cm以上）を対象に、各個体の胸高直径の測定と樹勢の判定を行い、調査票に記録する作業を行っています。

今回はこのほか、設置から5年が経過し、劣化が目立ってきていた各個体の識別用タグ貼り替えも予定していたため、二人一組で、胸高直径を測る班を2組、個体識別用タグを貼り替える班を1組編成して作業開始しました。



急な斜面を上り下りしながら目当ての木を探したり、一抱え以上ある大木の測定をしたりするのは、整備作業同様にハードな部分もあり、初めて調査に参加した会員達からは、調査の大変さを実感したとの声が上がっていました。

とはいえ、3組で分担できたことが功を奏し、時間内に無事、計72本の成木の調査とタグの貼り替えを終えることができました。



【貼り替えた個体識別用タグ】



(左が今回、右が5年前設置分)

■調査結果等

調査結果の詳細は次ページの別表のとおりです。

例年、マツ枯れにより1本程度枯死が確認されていますが、今年は見受けられませんでした。また、計測値を見ると、全体的に昨年度から1.0cm前後成長しています。

最も直径の大きなものはA地区の9番の個体で66.3cmでした。円周率をかけてみると周囲長がなんと2m超。手も回らない大きさで驚きです。

また、下の表1は、胸高直径区分別の各地区構成割合です。特にB・C地区は大径木に偏っていて、次の世代の若齢木を早期に育成することが課題といえます。除伐はかなり進んできているので、今後は地掻きや下草刈りに力を入れる必要がありそうです。

表1 胸高直径区分別構成割合 (本)

	小径木		中径木		大径木			計
	D<10cm	10≤D<20	20≤D<30	30≤D<40	40≤D<50	50≤D<60	60cm≤D	
A地区	0 (0%)	3 (12%)	4 (15%)	1 (4%)	9 (35%)	7 (27%)	2 (8%)	26
B地区	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (43%)	3 (43%)	1 (14%)	7
C地区	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (38%)	4 (50%)	1 (13%)	0 (0%)	8
D地区	1 (17%)	0 (0%)	2 (33%)	1 (17%)	2 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	6
E地区	2 (25%)	2 (25%)	2 (25%)	1 (13%)	0 (0%)	1 (13%)	0 (0%)	8
F地区	4 (25%)	4 (25%)	2 (13%)	3 (19%)	2 (13%)	1 (6%)	0 (0%)	16
合計	7 (10%)	9 (13%)	10 (14%)	9 (13%)	20 (28%)	13 (18%)	3 (4%)	71

なお、今回の調査終了後、D・F地区のアカマツ幼木が密生しているエリアを全員で廻り、間引く候補を選ぶ作業も行いました。今後対象木を確定した上で間引きし、残した幼木を優良な若齢木に育てていく予定。

調査は地味な作業ですが、保全しているアカマツ一本一本に目を向け成長を実感できる良い機会です。経験のある方もない方も是非、参加してください。

アカマツ林成木調査結果一覧表

調査区域	個体番号 新タ	胸高直径(cm)※1			樹勢※2	
		前回 (2018)	今回 (2019)	差	前回	今回
A 地 区	1	26.3	27.5	1.2	1	0
	2	46.4	47.5	1.1	0	1
	3	26.3	26.9	0.6	1	0
	4	39.8	40.0	0.2	0	0
		44.1	伐採		4	
	5	63.2	63.6	0.4	1	1
	6	57.7	58.7	1.0	0	0
	7	49.3	49.6	0.3	3	3
	8	53.3	53.7	0.4	2	2
	9	65.3	66.3	1.0	0	0
	10	42.7	43.6	0.9	0	0
	11	55.4	56.3	0.9	1	0
	12	56.5	57.9	1.4	1	0
	13	43.2	43.6	0.4	1	1
	14	50.2	50.4	0.2	1	1
	15	12.0	12.5	0.5	2	2
	16	46.1	46.7	0.6	2	2
	17	16.0	16.1	0.1	2	2
	18	20.9	21.7	0.8	2	1
	19	41.8	43.1	1.3	1	0
	20	16.5	16.8	0.3	2	1
	21	48.6	50.4	1.8	0	0
	22	42.3	43.1	0.8	0	0
	23	33.9	34.5	0.6	1	1
	24	50.4	51.6	1.2	1	1
	25	41.8	43.0	1.2	1	1
26	21.4	22.2	0.8	1	1	
27本	平均	41.2	41.8	0.8	1.1	0.8
B 地 区	27	61.1	61.6	0.5	0	0
	28	55.4	55.9	0.5	1	1
	29	56.6	57.0	0.4	1	1
	30	40.8	41.5	0.7	1	0
	31	52.7	53.0	0.3	0	0
	32	41.3	41.9	0.6	1	1
	33	43.7	45.3	1.6	0	0
7本	平均	50.2	50.9	0.7	0.6	0.4
C 地 区	34	48.3	49.8	1.5	1	1
	35	50.4	51.3	0.9	1	1
	36	35.2	36.1	0.9	1	1
	37	45.8	46.5	0.7	0	0
	38	48.3	49.0	0.7	0	0
	39	48.3	49.8	1.5	1	0
	40	38.2	39.0	0.8	0	0
	41	32.9	33.5	0.6	1	1
8本	平均	43.4	44.4	1.0	0.6	0.5

調査区域	個体番号 新タ	胸高直径(cm)※1			樹勢※2	
		前回 (2018)	今回 (2019)	差	前回	今回
D 地 区	42	37.2	38.7	1.5	1	1
	43	25.5	26.1	0.6	2	2
	44	44.1	45.1	1.0	1	1
	45	21.5	21.8	0.3	1	1
	46	47.3	48.7	1.4	1	1
	47	6.3	8.5	2.2	1	0
	6本	平均	30.3	31.5	1.2	1.2
E 地 区	48	51.1	52.0	0.9	1	1
	49	27.6	28.1	0.5	2	2
	50	24.7	26.1	1.4	1	1
	51	12.9	13.5	0.6	2	2
	52	6.8	6.8	0.0	3	3
	53	17.9	18.2	0.3	1	1
	54	34.3	35.1	0.8	1	1
	55	7.5	7.7	0.2	2	2
8本	平均	22.9	23.4	0.6	1.6	1.6
F 地 区	56	9.5	11.3	1.8	1	1
	57	29.7	31.0	1.3	0	0
	58	18.8	19.9	1.1	2	1
	59	41.3	42.5	1.2	0	0
	60	15.6	17.1	1.5	2	2
	61	53.5	53.9	0.4	1	1
	62	27.1	27.9	0.8	2	2
	63	31.6	33.0	1.4	0	0
	64	8.6	10.4	1.8	1	0
	65	34.9	35.7	0.8	1	1
	66	19.8	20.7	0.9	2	1
	67	40.1	41.0	0.9	1	1
	68	14.2	14.6	0.4	2	1
	69	5.2	7.1	1.9	0	0
	70	5.6	7.6	2.0	0	0
	71	4.5	6.3	1.8	0	0
72	-	5.8	-	-	0	
16本	平均	22.5	22.7	1.3	0.9	0.7

※1...胸高直径は小数点以下第1位まで計測

※2...樹勢の評価基準は下表のとおり

区分	樹勢の評価基準
0	旺盛な生育状態を示し、被害が全く見られない
1	いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない
2	明らかに異常が認められる
3	生育状態が劣悪で回復の見込みがない
4	枯死

うん・え一会報告

2019年12月7日(土) 9:30~12:00

出席者：林、鎌田、静間、川上、長澤、中嶋、新地、柴戸、小川R 計 9名

1. 役割決定、資料確認

2. 9~12月活動報告(詳細は会報第132号参照)

- ・9/29(日) カブ森作業(鎌田)→台風17号による風倒木の処理。→参加者2名で実施。
- ・10/6(日) カブ森作業(鎌田)→損傷木の除伐、草刈、遊歩道の清掃 参加者21名
- ・10/20(日) アカマツ林(国広)→DE地区除伐、カブ森・植生調査(鎌田)→少しづつ出現種数が増えてきていた。
- ・11/10(日) カブ森作業(静間)→クヌギの伐採
- ・11/23(土) アカマツ林作業(松雪)→除伐、草木染体験(平野、鎌田)→近年では初めてのメニュー。材料と発色の関係が楽しみ。材料集めが大変なので次回からは事前に集める必要がある。次年度からは本格化したい。
- ・12/7(土) うん・え一会(林)。木工教室(鎌田)→参加人数が少なく中止。

成木調査(中嶋)→アカマツ林の調査対象木の成長具合を調べた。若木のうち育成対象木の選定を実施した。

3. 12~3月活動予定

- ・12/15(日) 納会(鎌田)→ぜんざい、豚汁。
- ・1/12(日) アカマツ林作業(松雪)、幼木調査(中嶋)
- ・1/19(日) カブ森作業(静間)
- ・2/9(日) 活動説明会(椎茸コマ打ち、丸太切り、たき火)
- ・2/23(日) カブ森作業(静間)
- ・3/7(土) 年度末うん・え一会(林)
- ・3/22(日) アカマツ林作業(松雪)

4. 特別活動予定

1/中旬クヌギの玉切り

5. 対外支援活動

1/10(金) 柏陵高校→油山ボランティア研修
11:05~16:30 (生徒39名、引率6名)

6. その他

4-1 予算消化状況報告(小川R) 47.3% チェンソー用装備をはじめ必要な予算は早めに消化しましょう!

4-2 世話役活動の振り返り提出依頼(林)→世話役宛用紙をメール添付で送ります。

期限内提出宜しくお願いします。

7. センター連絡事項(小川)

- ・環境省の委託事業「里山まるごと体験」を実施(12/15、1/19)するが、センター単独行事とする。
- ・炭焼き体験イベント→2020年2月頃実施予定。アカマツ林入口の炭焼き窯を整備し使用予定。

8. 発送作業 ①会報第132号

活動予定(2020年3月~)

★〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行

〈うん・え一会〉〈勉強会〉は雨天決行

活動時間：9:30集合 ~ 15:30解散

★荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。

★活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変更になる場合があります。

★〈作業〉の標記のある日の服装は「森スタイル」(長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装)でご参加ください。必要な持ち物は

いぼ付軍手・帽子・タオル・弁当・飲物・おやつ筆記用具の他、必要に応じて着替え・雨具をご持参ください。



3月22日(日) アカマツ林作業

アカマツ林のD・E地区にて広葉樹の除間伐を行います。

会員登録更新手続きのご案内

更新手続きは、3/23締切りです。お忘れになりませんように!!



◆4月~6月の活動予定は今後、HP

(<http://www.morikai.org/>)でお知らせします。

油山自然観察の森 森を育てる会

会報『森ものがたり』季刊発行

編集担当：川上寛、国広信幸、鎌田隆、静間純、

松雪清人 印刷担当：小川真樹
